

15. 英語科目履修案内

英語科目の授業

英語科目の授業は、外国語としての英語の運用能力を高めることによって、将来的に英語で学修・研究活動を行う上で必要な英語の諸技能を修得し、併せて英語によるコミュニケーションに積極的に参加する姿勢を育むことを目的とする。また海外留学や国際的な研究活動の場において円滑なコミュニケーションを可能にするために、外国文化一般についての知識と理解を深めることも目的とする。

英語科目には、必修科目として英語第一から第九があり、選択科目として英語スピーキング演習をはじめとする各科目が開講されている。選択科目の種類、および各科目の開講クォーターは表13の通りである。

英語科目の必修科目

英語第一から第四は、それぞれ100番台の第1クォーターから第4クォーターに開講され、全員が指定されたクラスで履修する必修科目である。英語第五から第八は、同様にそれぞれ200番台の第1クォーターから第4クォーターに開講され、全員が指定されたクラスで履修する必修科目である。

英語第一/英語第二は国際意識を醸成する科目として位置づけられ、将来的な留学や海外での研究活動への意識と関心を高めることを念頭に置いた上で、総合的な英語力向上の基盤構築を目指す授業が行われる。

英語第三/英語第四では、読解・作文に重点をおくRWと聴解・口頭表現に重点をおくLSの二種類の種目のクラス編成が行われる。各学生は、事前に希望する種目を選び、指定されたクラスで履修をする。

英語第五/英語第六および英語第七/英語第八でも、RWとLSの二種類の種目のクラス編成が行われる。各学生は前期と後期に、一度ずつRWとLSのクラスを指定され、そのクラスで履修をする。（前期RW・後期LSの組み合わせと前期LS・後期RWの組み合わせのいずれかが指定され、順序を選ぶことはできない。）

英語第九は300番台の第1クォーター以降に開講され、入学3年目に大学が実施するTOEFL ITP、または入学3年目以降に個別に受験したTOEFL iBT、TOEFL ITP、TOEIC Listening & Reading 公開テストにおいて、定められた合格基準点以上のスコアを取得し、所定の方法で登録することで単位が認定される。成績判定は合否で行われる。英語第九の詳細については別にオリエンテーション等で周知する。

表12 英語科目の必修科目

科目コード (番台)	授業科目	単位数	履修推奨クォーター
100 番台	英語第一	0-1-0	1Q
	英語第二	0-1-0	2Q
	英語第三	0-1-0	3Q
	英語第四	0-1-0	4Q
200 番台	英語第五	0-1-0	1Q
	英語第六	0-1-0	2Q
	英語第七	0-1-0	3Q
	英語第八	0-1-0	4Q
300 番台	英語第九	0-1-0	1Q

必修科目の再申告・再履修と単位認定試験および再試験

不合格となったため履修推奨クォーターに英語第一から第八の単位を修得できなかった場合は、原則として翌クォーター以降に当該授業科目を再申告・再履修しなければならない。

時間割の関係で再申告・再履修が困難な場合には、単位認定試験によって単位を修得することができる。ただし、単位認定試験の受験資格が認められるのは、当該授業科目を過去において履修し、不合格になった場合のみである（不合格になった際の成績が0点の者は受験を認めない。）また、単位認定試験で認められる単位は、英語第一から第八の中から、2単位までである。単位認定試験の受験希望者は、前期および後期はじめのガイダンスに出席し、受験の許可を受けなければならない。成績判定は合格（一律60点）と不合格の二通りである。

英語第九の単位を履修推奨クォーターに修得できなかった場合は、入学3年目の第3クォーター以降に再申告・再履修をしなければならない。英語第九の再履修クラスにおいては、成績判定に授業における評価も含まれる。入学4年目の第3もしくは第4クォーター以降に再申告・再履修し、不合格となった者については、再試験を実施することがある。

検定試験による必修単位（英語科目）の認定

英語検定試験により一定の成績を取得した者は、必要な審査を経て、英語科目の単位を認定される場合がある。認定を希望する学生は、前期および後期はじめの所定の期間内に申請しなければならない。認定されるのは、100番台および200番台の必修科目（英語第一から英語第八まで）8単位のうち、既修得単位とあわせて上限8単位までである。認定された科目の成績は100点とする。ただし既に修得した科目の成績の変更は行わない。認定の対象となる検定試験は下記の通りである（TOEFL及びIELTSについては、成績証明有効期間内のものに限る）。

実用英語技能認定試験（日本英語検定協会） 1級

TOEIC Listening & Reading 公開テスト 875点以上

TOEFL iBT 100点以上

IELTS 7.0以上

英語科目の必要単位

卒業資格を満たすためには、英語科目の必修科目である英語第一から第九までの9単位全てを修得していなければならない。

また、系所属、および学士特定課題研究申請の資格を得るために必要な単位数には、英語科目の必修科目の単位が含まれる。履修推奨クォーターに当該科目の単位を修得できなかった場合には、これらの資格を得られないことがあるため、必要な単位数については各学生が確認しなくてはならない。

英語科目の選択科目

英語の運用能力をより高め、外国文化の知識と理解をより深めるためには、英語科目の必修科目に加えて選択科目を履修することが望ましい。開講科目は表13の通りである。（英語科目の選択科目の単位は、必修科目の単位に代替することはできない。）

なお、各科目の第一と第二は原則として同じクラスで授業を行うので、両方を継続して履修することが望ましい。第三と第四、第五と第六、第七と第八、第九と第十、第十一と第十二についても同様である。

表13 英語科目の選択科目

科目コード (番台)	授 業 科 目	単 位 数	開 講 クォーター
100番台	英語スピーキング演習 第一/第二 同 第三/第四	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	英語プレゼンテーション演習 第一/第二 同 第三/第四	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第一/第二 同 第三/第四	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第一/第二 同 第三/第四	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	TOEIC対策セミナー 第一/第二 同 第三/第四	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	英語学習法	0-1-0	1Q
	英語スピーキング演習 GI 同 GII	0-2-0 0-2-0	2Q (集中講義等) 4Q (集中講義等)
	英語海外研修 1A/1B	0-2-0	2Q (集中講義等) 4Q (集中講義等)
	実践型科学技術英語海外研修 I	0-2-0	2Q, 4Q
200番台	英語スピーキング演習 第五/第六 同 第七/第八	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	英語プレゼンテーション演習 第五/第六 同 第七/第八	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第五/第六 同 第七/第八	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第五/第六 同 第七/第八	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	国際交流実践	1-1-0	1Q
300番台	英語スピーキング演習 第九/第十 同 第十一/第十二	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	アカデミックプレゼンテーション 第九/第十 同 第十一/第十二	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	アカデミックライティング 第十一/第十二	0-1-0 / 0-1-0	3Q / 4Q
	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第九/第十 同 第十一/第十二	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第九/第十 同 第十一/第十二	0-1-0 / 0-1-0 0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q 3Q / 4Q
	英語スピーチ演習 第九/第十	0-1-0 / 0-1-0	1Q / 2Q
	英語スピーキング演習 G I A 同 G II A	0-2-0 0-2-0	2Q (集中講義等) 4Q (集中講義等)
	実践型科学技術英語海外研修 II	0-2-0	2Q, 4Q